

JIS 発行を受け JET ロボット認証を開始しました

2016 年 4 月 21 日
一般財団法人 電気安全環境研究所

一般財団法人電気安全環境研究所（以下「JET」、本部 東京都渋谷区）は、2016 年 4 月 20 日に生活支援ロボットの安全要求事項を規定する下記の JIS の 4 規格が発行されたことを受け、これらの規格を適用した JET ロボット認証を開始し、20 日付で、パナソニック株式会社が製造する自律搬送ロボット（HOSPI）を第 1 号として認証しました。

JIS B 8445 : 生活支援ロボットの安全要求事項

JIS B 8446-1 : マニピュレータを備えない静的安定移動作業型ロボット

JIS B 8446-2 : 低出力装着型身体アシストロボット

JIS B 8446-3 : 倒立振子制御式搭乗型ロボット



JET が認証した自律搬送ロボット (HOSPI)

■ JET ロボット認証制度の概要

JET ロボット認証では、JIS B 8445 (ISO 13482) に基づいたリスクアセスメント結果の評価に加えて、リスクアセスメントの妥当性を確認するための機械安全、電気安全、EMC の試験を実施します。また、製造工場における工場調査により生産するロボットが認証要件を満たすことを確認し、初回調査以降は、年 1 回の定期工場調査、さらに認証の期限を迎える 3 年毎に更新審査を実施することにより、認証マークを表示するロボットが継続的に規格に適合していることを確認します。

■ JET ロボット認証の優位性

この度発行された生活支援ロボットに係る JIS 規格においては、2014 年発行の国際規格である ISO 13482 に整合した JIS B 8445 に加え、生活支援ロボットのタイプ別に具体的な要求事項を規定した JIS B 8446 が追加されています。今後、JIS B 8446 の個別規格は日本から ISO 規格に提案される予定のため、JET ロボット認証は国際規格を先取りした認証となっています。

また、JIS B 8446 の個別規格には、機械安全だけでなく、JET が得意とする火災や感電防止などの電気安全に関する要求事項も追加されており、JET が従来から有している技術的な知見を十分に生かした認証が可能となります。

さらに、設計面での安全確認に加え、JET で現在実施している家電等の認証と同様に工場調査により製造面での安全確認を行うことで、JET ロボット認証では万全の安全確認が可能となります。

■ JET ロボット認証マーク

認証要件を満たすロボットには、下記の認証マークを表示することができます。また、このマークの近傍に適合規格を記載することもできます。(下の例では右側)



JIS B 8445 (ISO 13482)
JIS B 8446-1

■ 欧州市場への展開を支援

JET は、EZU (チェコ) と業務提携しています。欧州の認証機関との業務提携をさらに拡大するとともに、JIS B 8446 が国際規格に反映されるよう働きかけていくことで、JET の評価データの活用の幅を広げていきます。

■ 本件問い合わせ先

一般財団法人 電気安全環境研究所 技術規格部
ロボット・HEMS 機器評価センター 小野、成田
TEL:03-3466-5126 FAX:03-3466-5142 e-mail : robot-hems@jet.or.jp